

山口県下関市の下関 下関合同花市場は20
合同花市場（岡田重美 10年からパーソナル情
雄社長）は4月からシ 報のシステムを使用して
システムをパーソナル情 報システムの花きクラ
ウドシステムに更新し た。同システムは市場
間連携に対応してお り、2月に同システム



岡田社長

おり、生産量が減ったら 県外産や輸入品での対応 を考えていたが、全国的 に生産量が減少し、輸入 品も不安定な状況から、 21年に北九州フラワー流 通センターと業務提携。 徳山とともに3社が協力 してこうと歩調を合わ

下関合同花市場

山口県 下関市

クラウドシステム更新

市場間連携で生産減に対応へ

を導入した徳山花市場 おり、今回新システムに せる。北九州が6月ごろ （山口県周南市、出田 更新。徳山には岡田社長 に新システムを導入した 裕之社長）、今後導入 が紹介し、先行して導入 後に、3社連携しての取 する北九州フラワー流 していた。岡田社長は山 引をスタートする。

通センター（福岡県北 口県花卉園芸農協の組合 九州市、三好洋介社 長でもあり、生産と市場 若手が多く作ると荷が余 るので、市場間連携によ

長）の3市場での市場 の両者の立場で先を見て 取り組む。

る。 山口も高齢化が進んで なる。生産者は下関に



下関合同花市場のセリ場風景

力を最大限に發揮して いく。

山口県にはオリジナ ルの lindo 西京シリ ーズがあり、極早生な ので全国に先駆けて出 荷される。他にも小さ かわいいうり「プ チ」など競争力のある 品種があり、多く作れ ば県外出荷もできるな ど、いかにして利益を 上げるか戦略的に考え ている。

出荷すれば他市場からも 購入できるなど運賃抑制 にもつながる。市場の品 り、品種コード統一も 課 ずるえが良くなり、良 題。

り県外へ出すことも可能 になる。生産者は下関に ック便の整備が必要にな め、メリットを出し、魅 いくたい」と語る。